

課題解決型高度医療人材養成プログラム 事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔取組 1〕医師・歯科医師を対象とした事業
 (1) 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成
 テーマ：病院経営支援に関する領域

	整理番号	2
申請担当大学名 (連携大学名)	千葉大学	
事業名	病院経営スペシャリスト養成プログラム	
事業責任者	医学部附属病院長 山本 修一	
事業の概要		
<p>千葉大学病院において、実務能力に長けた講師陣が病院経営上の重要事項を網羅した学習内容を提供し、病院経営のスペシャリストを養成・輩出することを目的とする。</p> <p>本プログラムは、医師を中心に、コメディカルや事務職、地域医療政策を担う自治体職員など将来の病院運営を担う者を対象とし、DPC/PDPS 制度に基づく病院経営指標の管理やコストの適正化、診療内容の最適化・質向上といった実践的な学習内容を提供する。</p> <p>また、実際のデータを活用したハンズオンセミナーや On The Job トレーニングを通じた実践的な教育カリキュラムを構築（履修証明プログラム）するとともに、企業等との連携により、遠隔授業や電子教材活用により働きながら学習可能な体制構築を計画する。</p> <p>本プログラムの円滑な運営を図るため、病院長直下にプログラム運営委員会を設置し、事業管理を行うとともに、千葉大学関連病院会議（加盟 92 施設）などのネットワークを活用する。</p>		
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等		
<p>○関連病院や自治体が参画している「千葉大学関連病院会議」のネットワークを活用して、関連病院からの提供された DPC データの分析による教育環境の整備や、企業と連携して遠隔授業や VTR によるフォローアップ授業の整備等の取り組みにより、事業の連携や普及効果が期待できる。</p> <p>○教育プログラム修了後に履修者の同窓会組織を結成して、履修者間のネットワークを形成するなど工夫した構想がなされている。</p> <p>○病院経営に係るコンピテンシーを設定し、履修者の能力を事前・事後に評価して向上度を測るといった評価指標は、教育プログラムの効果を適正に測ることができるため、評価できる。</p> <p>●企業との連携内容が技術的な点に終始していることから、企業人の思考過程を取り入れるような連携を模索するとさらに実効性が高められる。</p> <p>●病院経営支援という観点から、経営系の科目（組織論、管理会計等）の更なる充実を図ることが望ましい。</p> <p>●達成目標とは別に、質的・量的ともに具体的な評価指標を加えるなど、改善の余地がある。</p>		